

令和6年度 LINE を活用したアンケート 調査結果
「歴史・文化に関する意識調査」

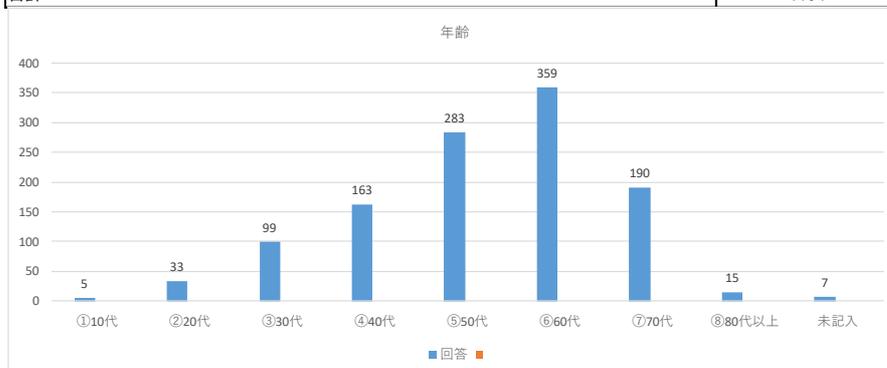
テーマ	「文化財保存活用地域計画」策定に係るアンケート調査
目的	本市では歴史文化を活用した「まちの魅力の向上や地域の活性化」を図るとともに、地域固有の風土の下、先人によって生まれ、歴代まで伝えられてきた歴史的財産の保護保存と活用を具現化するため、「文化財保存活用地域計画」の作成に取り組んでいます。 この計画をより良いものとするため、市民の皆さまの意向をうかがったものです。

【調査期間】	令和6年10月11日（金）～10月25日（金）午前8時
【対象者数】	54,376名（福島市公式 LINE 友だち登録者のうち、受信設定が市内かつアンケート同意者）
【回答者数】	1,154名
【回答率】	2.1%

問1 あなた自身について可能な範囲で教えてください

①年齢

	回答
①10代	5
②20代	33
③30代	99
④40代	163
⑤50代	283
⑥60代	359
⑦70代	190
⑧80代以上	15
未記入	7
合計	1154

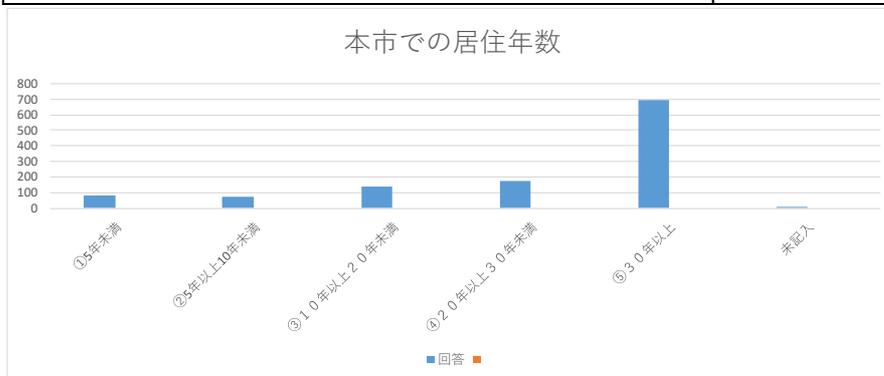


【文化振興課】

40代から70代の回答が85%を超えており、中高年の関心が高いことがわかる一方、30代よりも若い世代の関心は低いです。若年層への歴史や文化に関する啓発が必要となることがわかります。

③本市での居住年数

	回答
①5年未満	79
②5年以上10年未満	72
③10年以上20年未満	135
④20年以上30年未満	172
⑤30年以上	692
未記入	4
合計	1154



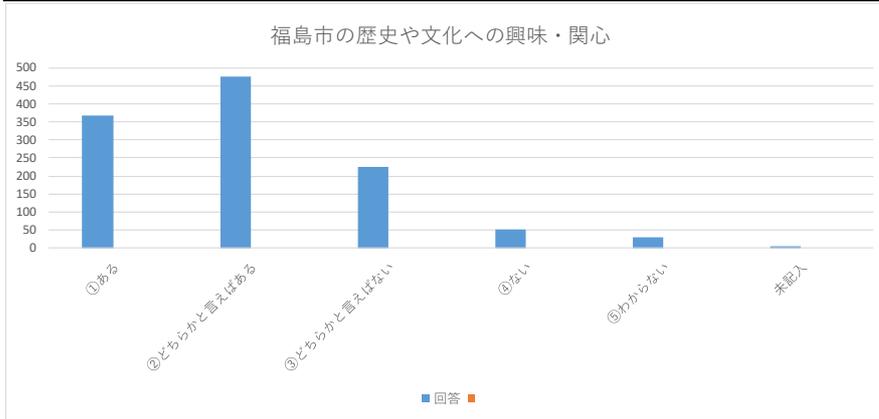
【文化振興課】

30年以上居住の割合が約60%と突出している一方で5年未満居住と5年以上10年未満居住の割合も約10%います。

問2

あなたは福島市の歴史や文化に興味・関心がありますか

	回答
①ある	367
②どちらかと言えばある	476
③どちらかと言えばない	224
④ない	52
⑤わからない	31
未記入	4
合計	1154



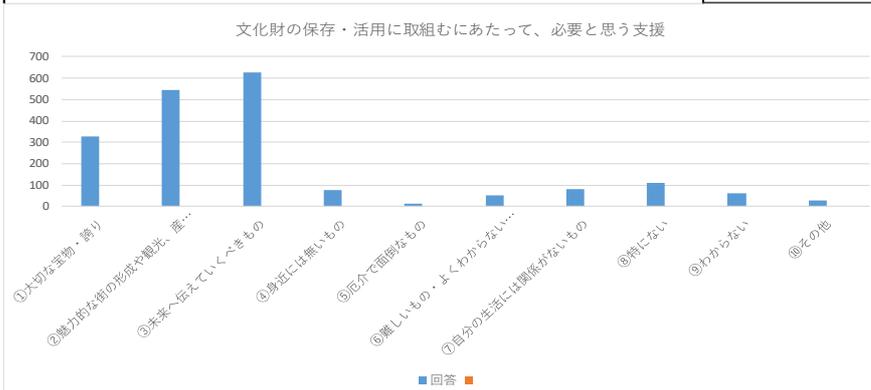
【文化振興課】

「ある」「どちらかと言えばある」が約70%であり、総じて関心が高いといえます。一方で、「どちらかと言えばない」「ない」も約20%います。

問3

あなたは福島市の歴史や文化にどのようなイメージを持っていますか
(複数選択可)

	回答
①大切な宝物・誇り	327
②魅力的な街の形成や観光、産業振興に重要なもの	547
③未来へ伝えていくべきもの	625
④身近には無いもの	74
⑤厄介で面倒なもの	12
⑥難しいもの・よくわからないもの	52
⑦自分の生活には関係がないもの	79
⑧特にない	110
⑨わからない	60
⑩その他	26
合計	1912



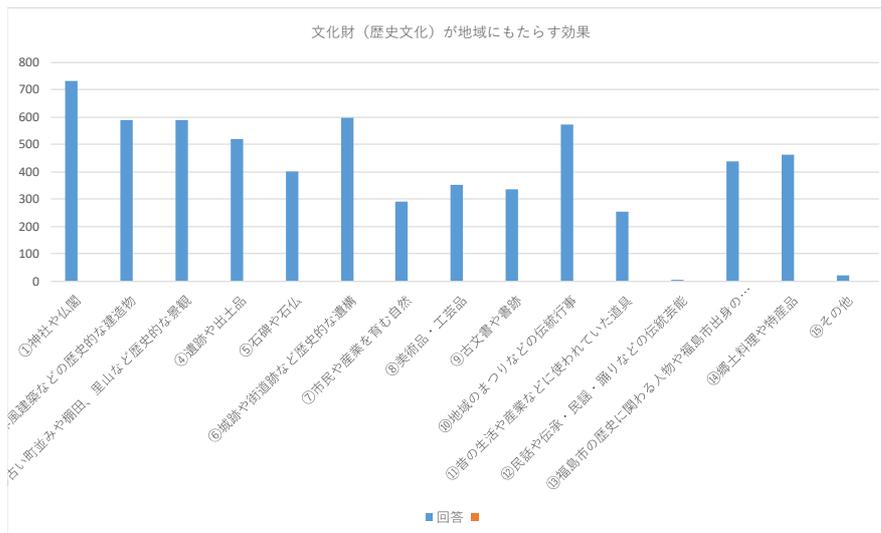
【文化振興課】

肯定的なイメージとなる①②③の回答数が約 80%で、福島市の歴史・文化に誇りを持ち、活用し、将来に伝えていくべきものとの市民の意見が表れています。一方で、否定的なイメージとなる④～⑨の合計も約 20%あることから、さらなる情報発信等の普及啓発も必要となることがわかります。

問 4

あなたが思う歴史や文化とは下記のどれでしょうか（複数選択可）

	回答
①神社や仏閣	733
②古民家・洋風建築などの歴史的な建造物	589
③古い町並みや棚田、里山など歴史的な景観	589
④遺跡や出土品	521
⑤石碑や石仏	400
⑥城跡や街道跡など歴史的な遺構	596
⑦市民や産業を育む自然	292
⑧美術品・工芸品	354
⑨古文書や書跡	336
⑩地域のまつりなどの伝統行事	573
⑪昔の生活や産業などに使われていた道具	255
⑫民話や伝承・民謡・踊りなどの伝統芸能	7
⑬福島市の歴史に関わる人物や福島市出身の人物	437
⑭郷土料理や特産品	461
⑮その他	23
合計	6166



【文化振興課】

(1) 神社・仏閣や古民家・洋風建築などの建造物が最も多く歴史・文化の象徴として捉えられています。

(2) 次に、城跡などの遺構や遺跡、また町並みや棚田などの歴史的な景観、まつりなどの伝統行事も同等に多くの方が回答しています。遺跡の回答数が多いのは「じょーもびあ宮畑」をはじめとする集落遺跡のイメージ等が影響しているとも推察されます。

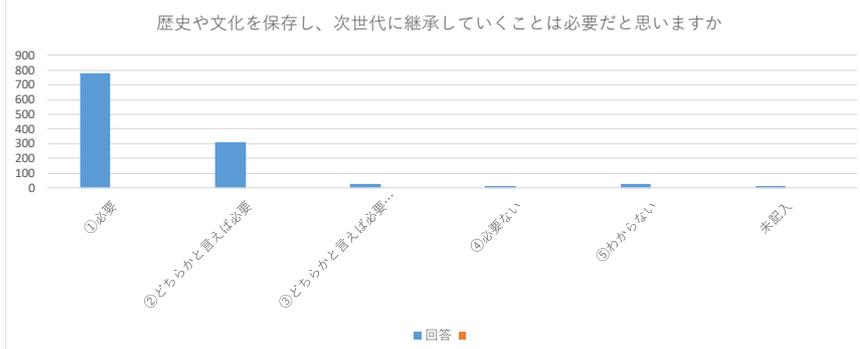
(3) 地域のまつりなどの伝統行事は市民に受け継がれているものが多く、身近に感じられていることの表れとも思われます。

その他、郷土料理や特産品、歴史上の人物、石碑等の石造物、美術工芸品、古文書類もほぼ同等の回答数であり、広範な種類に及んでいます。一方、自然環境や生活・産業の道具類にはあまり歴史文化を感じていないようであり、民話や伝統芸能の回答数は極端に少なく、伝統行事と対照的です。

問 5

歴史や文化を保存し、次世代に継承していくことは必要だと思いますか。

	回答
①必要	778
②どちらかと言えば必要	307
③どちらかと言えば必要ない	24
④必要ない	8
⑤わからない	25
未記入	12
合計	1154



【文化振興課】

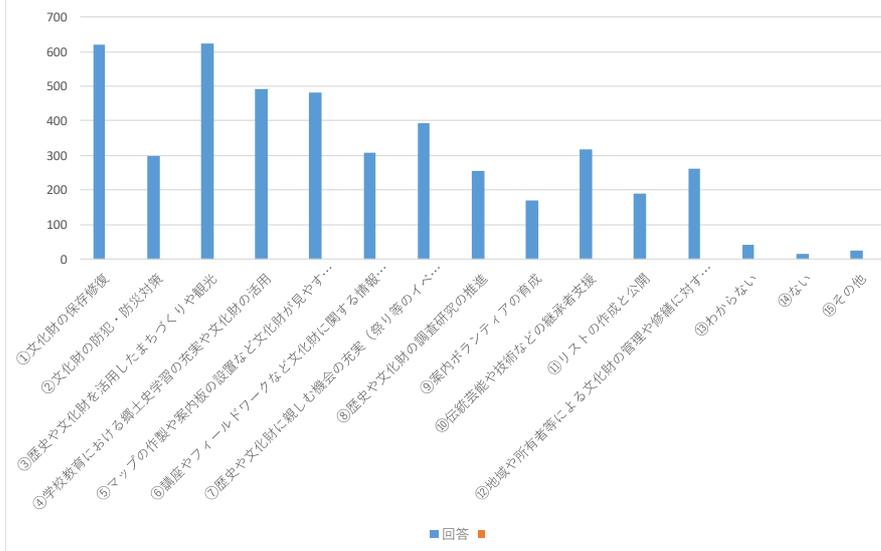
「必要」の回答が約70%であり、「どちらかと言えば必要」を加えると90%を超えます。市民の大半が歴史・文化の継承が必要と考えていることがわかります。

問 6

福島市の文化財を適切に継承していくために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか（複数選択可）

	回答
①文化財の保存修復	621
②文化財の防犯・防災対策	299
③歴史や文化財を活用したまちづくりや観光	622
④学校教育における郷土史学習の充実や文化財の活用	493
⑤マップの作製や案内板の設置など文化財が見やすく、分かりやすくなるための整備	481
⑥講座やフィールドワークなど文化財に関する情報発信や文化財を知る機会の充実	307
⑦歴史や文化財に親しむ機会の充実(祭り等のイベント)	392
⑧歴史や文化財の調査研究の推進	255
⑨案内ボランティアの育成	171
⑩伝統芸能や技術などの継承者支援	319
⑪リストの作成と公開	188
⑫地域や所有者等による文化財の管理や修繕に対する支援	262
⑬わからない	41
⑭ない	16
⑮その他	26
合計	4493

福島市の文化財を適切に継承していくために、市が力を入れるべきこと



【文化振興課】

(1) 文化財の保存修復とまちづくりや観光への文化財の活用が最も行政に期待されています。
 (2) 次に、学校教育での郷土史学習等と、市民が文化財を知る機会を提供するマップ作製や案内板の整備への期待も大きいです。

(3) 歴史・文化財に親しむ機会の充実や講座等の情報発信などによる知る機会の充実を求める回答数も多く、市の歴史文化への関心の高さと機会提供への要望が伺えます。

(4) 文化財の防犯・防災対策への期待も一定数あり、近年の文化財の被災に関する報道などから理解が得られているものかと思われます。

一方、調査研究の推進や伝統芸能・技術の継承者支援、所有者等による文化財の管理・修繕への支援は必要な施策ではあるものの、市民の期待は多くはなく、案内ボランティアの育

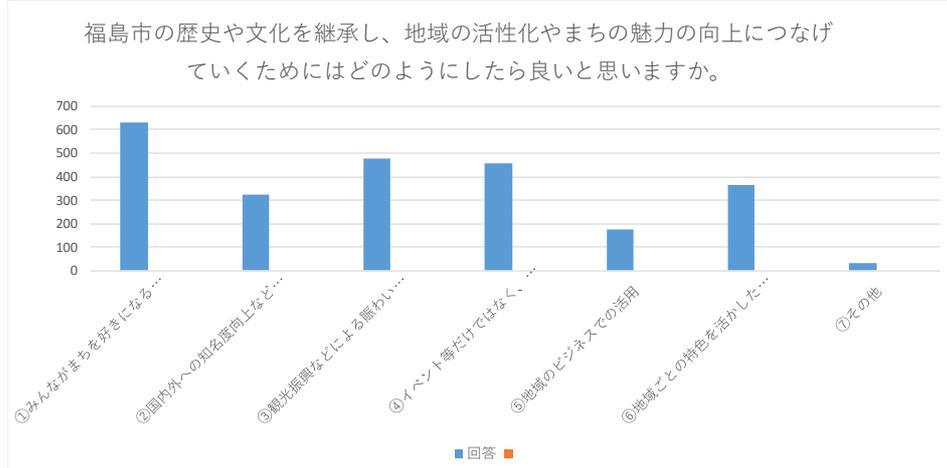
成及びリストの作成と公開への回答数は少ないです。

総じて、文化財の保存修復や生活の中で感じられる取り組みへの期待が多い一方、継承者支援やボランティアの育成、また特定の文化財の保存、調査研究やリストの作成など、一般に知られ難い施策への理解は深まっていないようです。

問 7

福島市の歴史や文化を継承し、地域の活性化やまちの魅力の向上につなげていくためにはどのようにしたら良いと思いますか。(複数回答可)

	回答
①みんながまちを好きになるように歴史・文化を活用	632
②国内外への知名度向上などによるまちのブランド化	326
③観光振興などによる賑わい創出	479
④イベント等だけではなく、気軽に接することができる日常生活に寄り添った活用	457
⑤地域のビジネスでの活用	175
⑥地域ごとの特色を活かしたまちづくり	363
⑦その他	35
合計	2467



【文化振興課】

(1) ①「みんながまちを好きになるように歴史・文化を活用」の回答数が最も多いです。この活用にはソフト面・ハード面の両面において、何らかの方法で地域の活性化や魅力の向上に歴史・文化資源を活かすべきとの考え方が読み取れます。

(2) 次に③観光振興などによる賑わい創出と④日常生活に寄り添った活用はほぼ同数であり、イベント的な活用と日常的に親しむ取り組みの双方が必要という結果とみられます。

(3) ⑥地域の特色を活かしたまちづくりが有効との回答も一定数あります。

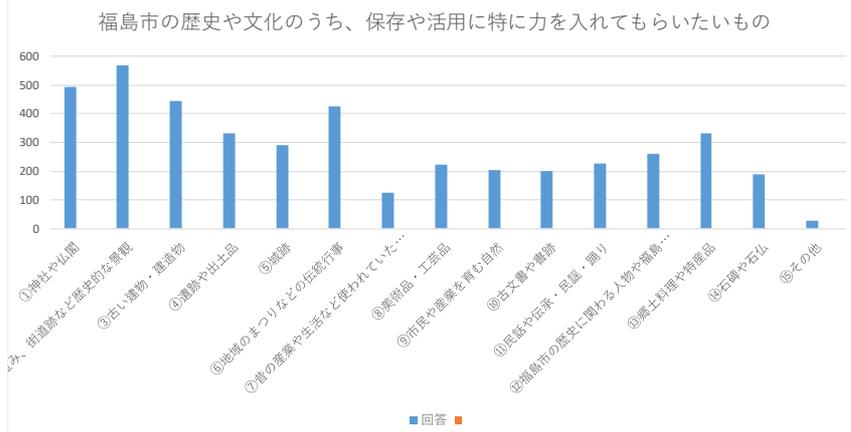
(4) ②知名度向上によるまちのブランド化はそれほど多くなく、⑤ビジネスでの活用は少ないです。

概観すると、歴史・文化資源を多様な方法で活用し、イベントや日常的に親しむ取り組みが必要であり、まちづくりへの展開も有効との結果とみられます。

問 8

福島市の歴史や文化のうち、保存や活用に特に力を入れてもらいたいものは何ですか（複数回答可）

	回答
①神社や仏閣	493
②町並み、街道跡など歴史的な景観	568
③古い建物・建造物	446
④遺跡や出土品	331
⑤城跡	291
⑥地域のまつりなどの伝統行事	427
⑦昔の産業や生活など使われていた道具	124
⑧美術品・工芸品	223
⑨市民や産業を育む自然	205
⑩古文書や書跡	201
⑪民話や伝承・民謡・踊り	225
⑫福島市の歴史に関わる人物や福島市出身の人物	261
⑬郷土料理や特産品	332
⑭石碑や石仏	189
⑮その他	26
合計	4342



【文化振興課】

(1) 神社・仏閣や町並みなどの景観、古い建造物の保存・活用への期待が大きいです。

(2) 次にまつりなどの伝統行事、郷土料理や特産品、遺跡・出土品、城跡、福島市の歴史上の人物も同等に多く、広範に保存・活用が必要との結果がみられます。

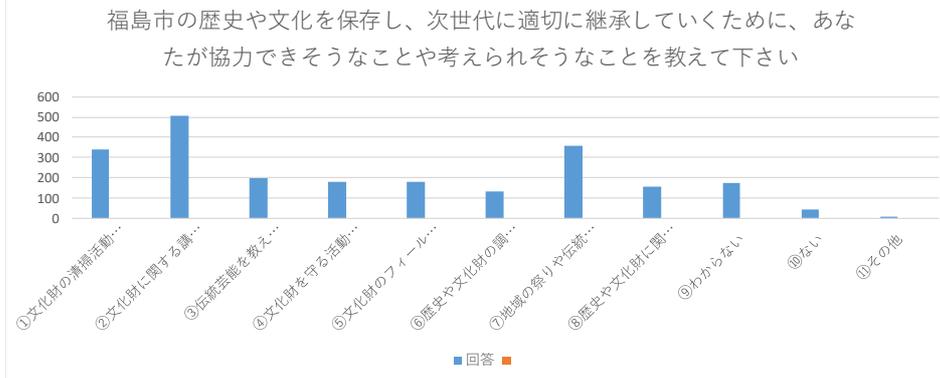
一方で、民話・伝承等や、美術品・工芸品、古文書・書跡、石碑・石仏、自然環境、古い道具類の保存・活用に注力すべきとの回答は総じて少ないです。

質問4「あなたが思う歴史や文化」と相関する結果であり、歴史・文化の象徴として捉えられている事象の保存・活用が必要との結果です。認知度の低いものの周知が保存・活用への理解につながると考えられます。

問 9

福島市の歴史や文化を保存し、次世代に適切に継承していくために、あなたが協力できそうなことや考えられそうなことを教えてください（複数回答可）

	回答
①文化財の清掃活動などへの参加	340
②文化財に関する講座やイベントなどへの参加	506
③伝統芸能を教える・学ぶ	200
④文化財を守る活動への寄付	182
⑤文化財のフィールドワークや調査、保存などにおけるボランティア	182
⑥歴史や文化財の調査や研究	137
⑦地域の祭りや伝統行事への参加	359
⑧歴史や文化財に関するSNSなどを活用した発信	159
⑨わからない	175
⑩ない	46
⑪その他	10
合計	2296



【文化振興課】

(1) 講座やイベント等への参加が最も多いです。

(2) 次いで祭りや伝統行事への参加と続きます。いずれも次世代への継承に不可欠なことです。これら2項目はどちらかと言えば受動的な参加です。

一方、その他の選択肢は能動的な参加であり総じて回答数は少ないですが、唯一清掃活動への参加には多くの回答数がありました。

回答数の多い講座・イベントへの参加、祭り等への参加、清掃活動への参加の合計は50%を超えるので、協力する意思を持つ市民が多いことがうかがえます。能動的なボランティアや調査研究、情報発信など、参加方法を明確化することで協力しやすい方法を提供することも有効と思われます。

問10

各地域には、固有の風土の下、先人によって生み生まれ、現代まで伝えられてきた歴史や文化が多く残されています。あなたが福島市で後世に残したい、地域が誇る歴史や文化に関係するものがあれば教えてください。

(建物、美術品、古文書、食文化や暮らし、地域で守られてきた風習、行事、伝統的な技術等。)

※問10の主な内容(回答を分類分け)

- 建造物 ●街並み ●遺跡 ●天然記念物 ●石造物 ●土木遺産 ●信夫山
- 自然景観 ●美術工芸品・文書 ●伝統行事 ●絹産業 ●舟運 ●特産品
- 郷土料理 ●人物

【文化振興課】

伝統行事と建造物、遺跡が多くあげられており、個別の文化財として信夫山の回答が多く見受けられました。次いで郷土料理、美術工芸・文書の回答が多いです。自然景観、温泉文化、街並み、人物(古関裕而)と続き、特産品や絹産業、天然記念物、舟運など、様々な後世に残したいものについてご意見を寄せていただきました。

問11

最後に、歴史や文化の保存・活用に関して要望やアイデアがありましたら、ご自由にお書きください。

※問11の主な内容(回答を分類分け)

- 資料館等 ●ボランティア・参加者・保存団体 ●バリアフリー ●周知・整備・公開
- イベント・学ぶ機会 ●情報発信 ●維持管理 ●個別の文化財 ●調査研究
- 保存対策 ●環境保全 ●まちづくり ●体制 ●予算 ●その他

【文化振興課】

イベントや学ぶ機会への要望・アイデアが最も多く、知識を得ることへの希望や参加への意思をもつ市民が多いことがわかります。文化財の周知・整備・公開に対する意見も多く、特に歴史・文化に関するマップや案内表示への要望が多数を占めました。

総合的に歴史・文化を集約する資料館・博物館の設置については多くの市民が要望していることがわかります。

ボランティア・参加者・保存団体では市民が参加しやすい環境づくりや支援が求められています。

まちづくりについては、街並みの保存や景観整備などの必要性や、温泉街の整備、駅周辺の開発に伴う歴史・文化に係る施設の設置を求める意見がある一方、都市機能の維持と

の兼ね合いが課題との意見も得られました。

個別の文化財について、じょーもびあ宮畑以外の遺跡整備への期待や郷土料理のアピール、祭りの在り方について意見が得られました。

維持管理や調査研究、保存対策についての要望等は少ないものの、文書の解読の必要性や、清掃・除草の重要性、今ある文化財を保存すべきとの意見が寄せられました。

環境保全についてはメガソーラーが景観を阻害していると捉える方が多くいました。

体制について、学芸員の増員や若い世代の意見を取り入れること、また県内外の自治体との連携や、民間との連携についての意見が得られました。

予算について、必要な予算を確保すべきとの意見や、資金調達のアイデアが寄せられました。また、限られた予算の中で優先すべき事項を見極め、バランス良く運用すべきとの意見を得ました。

【文化振興課まとめ】

本アンケートをとおし、神社や建築物など実際に目に見える部分への興味関心が多いことや、多くの市民の方が本市の歴史文化について未来へ伝えていくべきものと考えていることがわかりました。

また、市民の方ご自身が協力できそうなこととして、文化財に関する講座やイベントへの参加を挙げていただいております。歴史・文化に対しての市民の方々の意欲が高いことを確認することができました。

今回いただいた市民の皆さまからの貴重なご意見を参考にしながら、文化財保存活用地域計画の策定を進めていきたいと思っております。

ご協力ありがとうございました。

【お問合せ先】

福島市役所（〒960-8601 福島市五老内町3番1号）

≪アンケート内容に関して≫

福島市市民・文化スポーツ部文化振興課文化財保護活用係

電話 024-525-3785（直通）

≪LINE アンケート制度に関して≫

福島市政策調整部広聴広報課

電話024-563-7488（直通）